

要 望 書

陸奥湾における掃海訓練の継続実施について

青 森 県 む つ 市
青 森 県 む つ 市 議 会

陸奥湾における掃海訓練の継続実施について

四方を海に囲まれた我が国において、海の安全を守ることは平和維持に直結するところであり、国防という崇高な任務に精励されております海上自衛隊の皆様に対しまして、衷心より感謝を申し上げますとともに敬意を表する次第であります。

さて、戦時に敷設された機雷の撤去を任務とする掃海部隊は、湾岸戦争後の1991年にペルシャ湾において多くの機雷を除去するなど、自衛隊の国際平和協力活動の先駆けとなりました。

常に危険と隣り合わせの掃海任務を遂行するに当たっては、日頃の厳しい訓練の積み重ねが必要不可欠であり、例年、本県の下北半島と津軽半島に囲まれた陸奥湾においても大規模な掃海訓練を実施いただいております。また、近年は米海軍との共同訓練として実施されており、日米同盟における抑止力・対処力の強化という点でも、訓練の重要性が増しているものと認識しております。

大湊地方総監部が所在するむつ市は、明治35年の海軍大湊水雷団創設以来、一世紀を超える歴史を共に歩みながら共存共栄の関係を構築し、国際舞台においても重要な役割を担っております海上自衛隊に対しまして、地域が一丸となって応援し、協力する土壤があります。

つきましては、当市は、自衛隊と共に歩むまちとして、訓練に対する地域の理解度が高いことに加え、掃海部隊の大湊港入港に伴う隊員の皆様の滞在が、当地域の賑わいと経済効果に多大な御貢献をされておりますことから、今後におきましても、陸奥湾における掃海訓練を継続して実施いただきますよう、特段の御高配をお願い申し上げます。

令和5年1月26日

むつ市長 宮下 宗一郎

むつ市議会議長 大瀧 次男